

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		竹迫初市振興会活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	政策部	課長名	井村 幸弘
	施策	24	歴史と伝統文化を活かした郷土愛の醸成			所属課	商工振興課	担当者名	末永 舞
	基本事業	81	伝統文化の継承			所属班	商工振興班	(内線)	1272
予算科目		会計一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 10926	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	地域の観光資源である竹迫初市を実施する振興会(商工会、市、教育委員会、JA、シルバー人材センター、まちなねっと”セラヴィ”、関係地区の区長で組織)を助成し、地域振興を図る。平成20年度までは3月3、4日に竹迫のJA前で開催し、H21年度からH23年度まではヴィーブルで開催されている「こどもフェスティバル」と併せて開催。平成24年度からは「こどもフェスティバル」と合同開催ではなくなった。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	申請受付、交付決定、支払、実績報告 年3回の調整会議への出席及び市広報、市HP、チラシ、横断幕によるPR活動
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	付近住民と利害関係者から開催日、開催場所についての意見が寄せられている。商工会の理事より、何故、商工会がこの事業を行なわなければならないのか。地元がもっと盛り上げて行なうべきであるとの意見があがっている。振興会の中で、考え方として商工振興ではなく、初市の歴史を後世に伝えていくことが重要であるという事を確認し、開催日と場所を合志庁舎前に変更した。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:	
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動) (DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)		
地域の観光資源である竹迫初市振興会に対し、地域振興を目的に補助をした。年3回の調整会議に出席した。市広報、市HPへの掲載、各区へのチラシ配布、横断幕を設置し初市PR活動を行なった。	26年度実績を基に27年度も引き続き同様の活動を展開していく。		
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 来場者数	人		
→ イ: 申請受付、交付決定、支払、実績報告処理時間	H		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
竹迫初市振興会		→ ア: 竹迫初市振興会団体数	団体
		→ イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
古き伝統のある初市を後世に継がせると共に地域振興を図る。		→ ア: 事業が成功したと感じた初市振興会団体数	団体
		→ イ:	
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
来場者数が増加し初市が賑わう事で成功したと実感でき、振興会の活性化に繋がることになる。27年度は更に周知徹底を図り来場者数を増やす。			全体計画
			~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
① 活動指標	ア 人		1,500	1,500	1,800	800	1,800	1,800	1,800	1,800
	イ H		5	5	5	5	5	5	5	5
② 対象指標	ア 団体		11	11	11	11	11	11	11	11
	イ									
③ 成果指標	ア 団体		11	11	11	11	11	11	11	11
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	81	81	81	81	81	81	81	81
	(A) 事業費計	千円	81	81	81	81	81	81	81	81
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2	2	2	4	2	2	2	2
延べ業務時間	時間	80	80	80	76	80	80	0	0	
(B)人件費計	千円	325	318	318	302	318	318	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	406	399	399	383	399	399	81	81	

事務事業名	竹迫初市振興会活動支援事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 竹迫初市振興会を構成する11団体すべてが事業が成功したと判断したため	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 初市においては、これといった目玉イベントがなく集客が頭打ちとなっている。県内タウン情報誌や九州圏内をカバーする情報誌へも積極的に情報を提供し、集客に繋げる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 来客数が増えれば初市が成功したと判断する団体が増加するため、成果の向上につながる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 近年、補助金も削減して、また農政課からの物資補助も平成19年度からなくなったため、さらなる削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 会議、初市の参加のみであり削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 対象者を市民にしているため公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 初市振興会(商工会、市、教育委員会、JA、シルバー人材センター、まちなっと”セラヴィ”、関係地区の区長で組織)が実施しており役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

地域振興という点では成果目標を達成したが、初市の歴史を後世に伝えるという観点では成果の測定はできない。
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						